

## 医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	大腸癌術後の癒着性イレウス発生のリスク因子について
所属科*	外科
研究責任者*	玉井皓己
研究実施期間	開始 西暦 2024年 09月 01日 ~ 終了 西暦 2025年 05月 31日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	大腸癌 (500 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2017年 1月 1日 ~ 至 西暦 2021年 12月 31日
研究概要*	<p>背景と概要：大腸癌術後の癒着性イレウスは 5-10%に発症するとされる。腹腔鏡手術の普及によって、その発症リスクは減少したものの、一度発症すれば患者 QOL を著しく損なう。癒着性イレウスの発症リスクの認識は、患者フォローを行う上で有用な情報となる。</p> <p>本研究は、大腸癌術後に癒着性イレウスを発症するリスク因子を探索することを目的とする。周術期臨床因子や術前炎症マーカーのうち、癒着性イレウス発症に係わる因子を単変量・多変量解析によって抽出する。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪ろうさい病院 外科 玉井皓己

\* 記入必須項目